

第6回 神岡地域協議会 会議録

日時 平成23年3月18日（火）午前10時～
場所 神岡総合支所3階大会議室

出席委員（9人） 今 裕子、齊藤兼光、齊藤博伸、佐藤康晴、竹原健子、鈴木和栄、藤井民之佑、高橋奈穂子、齊藤由紀

欠席委員（7人） 石山美恵子、小田原博、進藤純雄、武藤良仁、渡部聖登、工藤昌子、佐藤美紀子

黙とう（東日本大震災の犠牲者に弔意を表して）

- 1、開 会 地域振興課長 小林博久
2、会長あいさつ 神岡地域協議会 会長 鈴木和栄

皆さんおはようございます。皆さん貴重なガソリンを使いおいでくださいましてありがとうございました。だだいま課長からもありましたが、今回の地震で皆さん大変つらい思いをしているのではないかと思います。親戚の方とかもおるのではないかと思います。すぐ近くの方で、岩手県からお嫁さんになって来た方があるのですが、大槻町という役場そのものが流されて、役場職員のほとんどが不明というところがありますが、そこにお姉さんがおるそうです。お姉さんは、屋上に上がって助かったとのことですが、食べ物もないものですから、津波で流された菓子を拾って飢えをしのいだという話を聞きました。また近くでは、釜石市か宮古の方に行方不明の方がいるということで、こちらから車に詰めるだけ食糧を積んで、行けるところまで行きましたけれども、無事着いたかどうかはわかりません。こういう関係で、いろいろ親戚の方や、秋田県に来られる方もおると思います。私事ではありますが、福島県に親戚がありまして原発の関係で昨日こちらに来るということになっていたのですが、こちらに向かったところあまりにも雪が多くて、またガソリンの関係で、計算して途中で引き返して戻って行ったようですが、運よく旅館がありましてそこに一時泊まっているということです。おそらくそちら方面から秋田県にも来ますし、また我々の同級生も松島に住んでいる方もおりますけれども、もちろん電話をやって通じません。実家に電話したらよくわからないけれども生きていようだとのことで、安心しています。

いずれ我々の生活が電気と石油に支えられてきたかということをお知らせされます。これから東京などもそうですが、計画停電は免れたようですが、これから何ヶ月続くかわかりませんが、被害者の復興を願っております。今日は22年度最後の協議会ということで、それぞ

れみなさんから寄せられた案などをもとに各部会に分かれて協議してまいりました。時間もありませんけれども、ぜひ活発なご意見をうかがいたいと思います。

3、支所長あいさつ

神岡総合支所長 竹原茂雄

本年度第6回の地域協議会をお願いしましたところ、委員の皆様には何かとお忙しの中、また、災害時にご出席いただき誠にありがとうございます。

地域協議会は年6回開催することとしており、この時期となりましたことお許し願います。

今冬は大変厳しい大雪に見舞われましたが、いよいよ春到来の明るい光が見え始めた矢先に、発生した東北関東大震災により、大変な状況となっている現状下であります。

さて、本日の協議会でご審議いただく案件は3件で、お手元の資料のとおり、平成22年度地域枠予算事業実績、平成23年度地域枠予算事業の委員提案事項及び平成23年度地域枠予算事業実施計画案につきまして協議をお願いするものであります。

前回、第5回地域協議会以降の管内の主なる動き等ですが、かみおか温泉嶽の湯の利用客が去る2月18日11時30分に、入館者2百万人を達成し、同温泉玄関にて記念のセレモニーを行ったところです。同温泉は、平成19年7月にオープンし、今年で14年目を迎えているところであります。

平成23年第1回大仙市議会定例会が去る2月28日から3月17日までの会期で開催され昨日閉会したところであります。

そして全段で申し上げました3月11日の東北関東大震災・現状の通りであります。そのような状況ですから、来る3月20日に予定されております神宮寺嶽六所神社奉納梵天は、今年に関しては中止するようであります。

以上報告とお知らせをし、開会にあたってのあいさつに代えさせていただきます。

小林 課長

このあと議題に入りますので、会議の議長は、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第9条4項の規定により、会長にお願いします。

鈴木 会長

それでは会議をはじめます。

本日、石山美恵子委員、小田原博委員、進藤純雄委員、武藤良仁委員、渡部聖登委員、工藤昌子委員、佐藤美紀子委員から欠席の届けが出されております。委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

次に、会議録署名委員を指定いたします。会議録署名委員は、齊藤由紀委員今裕子委員にお願いいたします。

それでは議題に入ります。議題1 平成22年度地域枠予算の実績について、事務局より説明をお願いします。

【以下の事柄について事務局より説明 今野副主幹】

平成22年度地域枠予算事業の執行状況について

鈴木 会長 ただいまの説明に皆さんからご意見ご質問ありましたらお願いします。
蒲の方は来年度の執行になるということですか？

今野 副主幹 あらためまして23年度の計画を説明する中で、そのような事情で実施できなかったことですので、23年度に地域枠予算のほうにお願いしたいと思っています。
いるところでございます。

鈴木 会長 何かありませんか。なければ承認したと思っていいでしょうか。

では承認ということで、続きまして、平成23年度の地域枠予算事業の委員提案事項について事務局から説明お願いいたします。

【以下の事柄について事務局より説明 今野副主幹】

平成23年度地域枠予算事業委員提案事項について

鈴木 会長 どうもありがとうございます。皆さんからよせられた提案について協議した結果、行政側からはこのようにしたいということでありますので、皆さんからご意見ありましたらお願いします。

藤井 委員 2ページの鈴木和栄会長からでた地域コミュニティ活動支援事業ですが、これは北檜岡と蒲、金葛の方がやったということのようですね。今の地震のような時の避難訓練とかは自主防災とかでやっているのですが、自主防災の予算というのはほとんどないので、避難訓練というものもイベントの中に入れてもらえたらと思います。拡大解釈するような方向はできるのかお尋ねします。今年北檜岡一回やったようですけども、新丁で2年前にやった時には、西分署から来てもらってこちらの方からは避難食を食べたりしました。お金はあまりかからないのですが、せいぜい2万位だと思います、それを市民課の自主防災係できれば一地区か一町内かを対象にして自主防災から出す形を認めてもらえればありがたいと思います。

竹原 支所長 藤井委員のおっしゃる通り、自主防災はこのような災害があれば本当に必要だということを感じるわけで、行政側も一生懸命地震、災害等に対応する訳ですけども、地域の自主防災組織が連携プレーやっていたらいい報告を自主的にやっていたら、本当にありがたいと思います。その点から考えると会の全体の活動ということで、補助もありえるなということです。

できる方向で検討して皆さんとまた相談したいと思いますので、どうかよろしくお願いを申し上げます。

鈴木 会長 検討していただきたいということで、いいですか。
その他にありませんか。

続きまして、平成23年度の地域枠予算事業の実施計画案について事務局からお願いします。

【以下の事柄について事務局より説明 今野副主幹】

平成23年度地域予算事業の実施計画(案)について

鈴木 会長 ありがとうございました。皆さんの班会議のときの要望とかが盛り込まれた訳ですけれども、22年度もそうでしたけれどもなかなか予算通りの執行に金額がいかないということもありますので、その辺は柔軟にやっていただきたいと思います。

皆さんからご質問ありましたらよろしくお願いいいたします。

齊藤兼光委員 事務局には大変ご難儀をかけたと判断しております。23年度の計画ほとんど同じですけれども、一つ、予算は間違いなく通る予算ですね。それから22年度の決算額、予算額の中身を見ますと、予算額と決算額が非常にアンバランスなところがあると思っております。いずれこのような使い方をしたということで、理解はしておりますけれども、予算は予算として、なるべく決済額に近いような使い方をしていただければいいのではないかと考えております。工夫してやり取りしているような感じで、苦労はわかるのですけれども、やはり予算額にある程度沿った使い方を工夫してもらえればありがたいなと思っております。いずれにしてもご難儀をおかけしました。

齊藤博信委員 質問なんです、渡部委員から提出された野球教室、方向性は自主事業で行うとなっておりますが、地域枠の中で22番の地域づくり活動支援事業で野球教室とか申請あれば、ここで協議していただけるような事業でしょうか。

小林 課長 私の方から一括してご説明させていただきます。今年度の予算でございます。554万2千円から5千円増えて554万7千円の予算となっております。前年並みということになっておりますが、この予算につきましては昨日議会の最終日になっておりました。予算通りに可決されましたことをご報告させていただきます。

次に予算と決算の違いが非常に大きいというようなご指摘でございます。本当にその通りでございます、私たちも一般の私たちが使う予算のように一つ一つ消耗品はいくらというように積み上げをしてやっていければ一番いいのですが、年度途中に入る新たな事業等もございまして予算と実績とがあわない所が出てきて、この点につきましてはできるだけご指摘のように実績が差異の少ないようにこの後していきたいと思っておりますので、何とかご理解をいただきたいと思っております。

次に渡部委員からの野球教室の提案ですが、22番の地域づくり活動支援事業に該当する事業ではないかなと考えております。ただ野球教室につきましては、地域協議会として野球教室を開催するというのはふさわしくございませんので、例えば体協とかスポ少とかで、行いたいという意向があれば計画に対して地域枠予算で支援していくという形がふさわしいと思っておりますので、そのように考えたところです。以上でございます。

議 長 その他に何かありませんか。

なければ平成23年度地域枠予算事業計画承認してよろしいでしょうか。

承認いたします。

以上、今日の案件は終了することになりましたが、委員の皆さんから何かほ

かにありますか。

事務局の方から何かありますか。

小林 課長 特にはありませんが、今年度最後の地域協議会ということになります、支所長も今年度限りで、めでたく退職となります。私たちのメンバーも来年度どうなるかはわかりませんが、本当にお世話になりました。

議 長 竹原支所長には大変お世話になりました。大変な時期に定年を迎えるということで、我々としても今までの長い間ご苦労さまでした。ぜひ定年以降も地域のために尽くしていただきたいと思います。

本当に今日はどうもありがとうございました。

以上は、会議の内容を記したものであり、相違ないことを証するために下記に署名する。

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____